

令和4(2022)年 ハタハタ情報 No.2

令和4年11月8日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2022年10月13～14日に留萌沖の水深188～422mの7調査点でトロールによる漁獲試験を行い、そのうち4調査点で合計19尾のハタハタを採集しました。

- 1歳以上の採集尾数は2019年とほぼ同様で、2015年以降では平均的な採集密度でした。
- 年齢組成は1歳が最も多く、次いで3歳、2歳であり、体長組成は13～22cm台と広範囲になっていました。
- 水温は表層から躍層付近までは過去5年平均と比較して1.5～4度ほど高く、70m以深は同程度か、わずかに高い水温でした。

1. ハタハタの採集状況

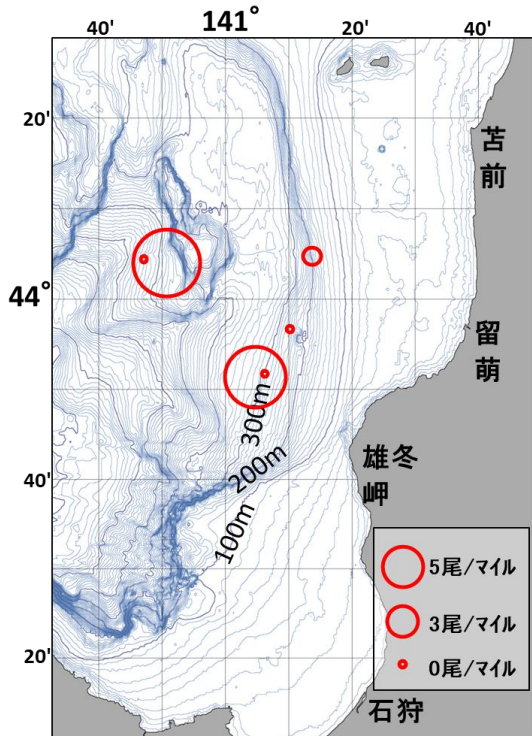


図1 2022年10月のトロール調査によるハタハタ採集密度（1歳以上）

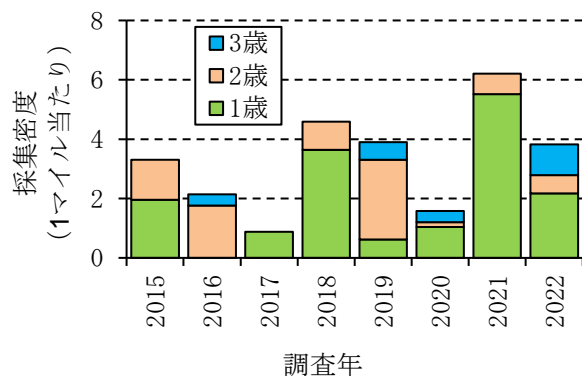


図2 10月のトロール調査によるハタハタ採集密度の経年変化

今回の調査では、留萌沖でトロールを7回曳網し、そのうち4調査点で合計19尾

(1歳:11尾, 2歳:3尾, 3歳:5尾)のハタハタが採集されました(図1)。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は平均3.8尾となり, 2019年とほぼ同様で2015年以降では平均的な採集密度となりました(図2)。

2. ハタハタ(1歳以上)の体長と年齢(図3)

今回の調査では1歳以上19尾のうち雄は10尾, 雌は9尾でした。雌雄混みの年齢組成は1歳(2021年級)が最も多く50%を超え, 次いで9月の調査では採集されなかった3歳, そして2歳となっていました。体長は年齢組成を反映し13~22cm台と広範囲にわたっています。

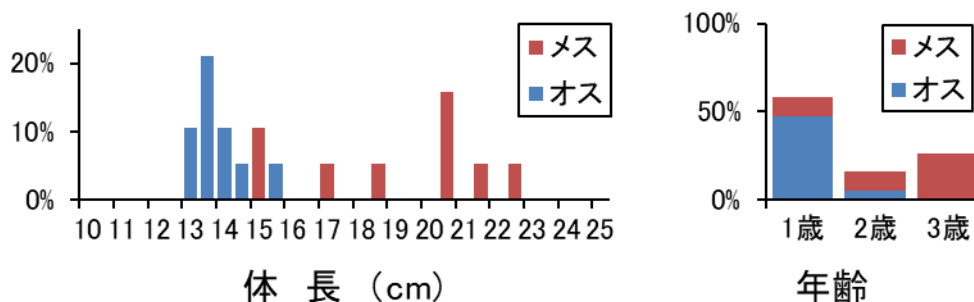


図3 2022年10月の調査で採集されたハタハタ(1歳以上)の体長組成と年齢組成

3. 成熟状態

ハタハタは成熟(生殖巣の発達)が進むにつれ, 南下して沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣(ブリコ)重量の割合(GSI)は産卵が近づくにつれて高くなり, 沿岸に来遊する頃には40%前後となります。

今回採集された雌のGSIは1歳魚が12.9%, 2歳魚が15.0%であり, 2014年以降でみると平均的な値でした。したがって今漁期の石狩湾前浜への来遊は11月中旬が目安となり, その時期の水温や海況に応じて来遊時期が決まるのではないかと考えられます。

4. 水温(図4)

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖(北緯44度, 東経141度)の表層から底層にかけての水温観測結果を, 過去5年の平均値と併せて示しました。

今回の調査では, 表層から深度約60mの躍層付近までは過去5年(2017~2021年)平均と比較して1.5~4度ほど高く, 70m以深は同程度か, わずかに高い水温でした。

5. 今後の調査など

今年度の留萌沖での調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様, 調査へのご配慮ありがとうございました。今後は, 各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので, 重ねてご協力をお願いいたします。

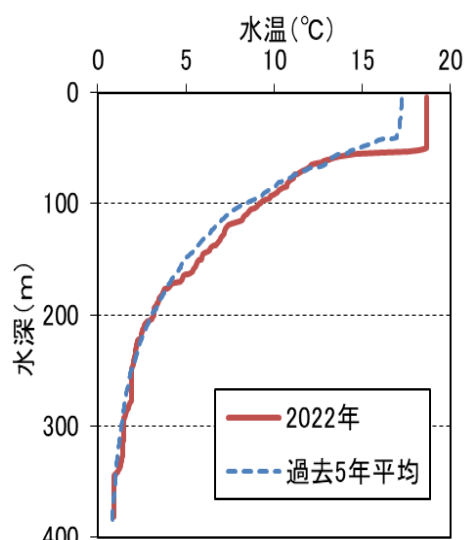


図4 雄冬沖(44° N, 141° E)における10月中旬の鉛直水温